

いま、必要なベンチャー投資を 京都発のファンド参加で積極サポート

ベンチャー企業が国の経済を牽引するアメリカに比べて日本のベンチャー投資はおよそ40分の1といわれます。日本経済の起爆力として待望されるベンチャー企業の輩出には創業初期の資金調達が必要要因です。

KRP(株)は伴走型の支援を展開ベンチャー企業の起業・成長をサポートしてきました。さらに昨年、初めての取り組みとして京都拠点のファンドに参加。投資を含めた起業・成長サポートに乗り出しています。当社が連携する2つの京都発ファンドの取り組みと大きな可能性を秘めた投資先企業をご紹介します。

ファンド出資で一歩踏み込んだベンチャー支援を

KRP(株)は昨年、創業初期のベンチャー企業を支援する「京都市スタートアップ支援ファンド」と「Kizuki Fund」に、LP(有限責任組合員)として出資しました。当社は設立以来、ベンチャー企業に寄り添った伴走型の支援を行なってきましたが、資金調達においては単発的にVCや金融機関を紹介するに留まっていた。今後は、前述の2つのファンドに出資を行うことで、資金調達に課題のある支援企業の成長をより加速できると考えています。

「京都市スタートアップ支援ファンド」は、京都市、産業支援機関、地元金融機関等による幅広い分野での創業期ベンチャー企業の支援を目的としています。投資が実行された4社のうち、AG(株)様は、当社のベンチャー企業支援プログラム「スタートアップ・サポートゼミナール」の修了者でもあります。

「Kizuki Fund」は、大学等の研究開発シーズの事業化、技術系のベンチャー企業への投資を行っています。KRP地区にご入居中の(同)SARR様にご入居してサポートいただきつつ、テクノロジー系ベンチャー企業を

早期に成長させる会員制のスタートアップアクセラレーター「迅HAYATE」との相乗効果も期待しています。同ファンドの投資先の1つ(株)スカイシーファーマ様は、前述の「迅HAYATE」に入居中でもあり、出資ファンドと当社の支援プログラムとの連携も出来つつあります。

海外に比べるとベンチャーファンドはまだまだ少なく、当社の出資もとても小さな一歩ではありますが、ローカルではありながら世界に羽ばたくベンチャー企業を育てていけるよう、他機関と連携し、京都から新産業、新ビジネス創出に貢献できればと思います。



KRP(株) 成長企業支援部長 梅田 和哉

※アクセラレーター迅「HAYATE」は、KRP(株)が運営する会員制のアクセラレーター。個室、ブース、シナスペースを備えており、現在13の会員企業が入居中。

ベンチャースピリッツあふれる京都に個性豊かなベンチャー企業の創出を期待

近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課長 大西 逸朗氏

政府は「ベンチャー・チャレンジ2020」を昨年4月に発表しました。目指すべき2020年の絵姿として「地域」と「世界」を直結する、「大学・研究機関・大企業等の潜在力」を最大限発揮するとしています。

京都にはこれまでもベンチャースピリッツあふれる人々が集まり、個性あふれる起業家を輩出しています。京都大学を始め各種研究機関が集積し、京都を拠点として世界に羽ばたいた企業も少なくありません。これはベンチャー・チャレンジ2020の目指すべきものが、京都には既に存在していると言える

のかもしれない。京都の起業環境は京都府、京都市等行政機関、京都産業21、京都高度技術研究所等公的支援機関だけでなく、KRP(株)を始めとする民間支援機関も起業家、ベンチャーへの支援環境(ファン、インキュベーション、ハンズオン支援等)が充実しているからではないかと考えられます。

KRP(株)におかれては、今後も公的支援機関では難しい企業支援に取り組みいただき、京都からどんどん個性豊かなベンチャー企業を創出し、関西全体を盛り上げていただくことを期待しております。

1 京都市スタートアップ支援ファンド

京都発のスタートアップを資金面でバックアップ

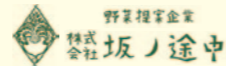
投資先企業の声



リボンディスプレイジャパン(株)
代表取締役社長 須山 透 氏

ファンドの資金提供で開発した製品が主力に

液晶ドライバ製品の企画、開発から製造、コンサルティングまで、小さな会社から新たな事業を展開し、日本の半導体業界を再生(Re-born)したいとの思いから設立しました。創業3年目で単月黒字化を達成。「日本の強みを生かせば海外市場でも戦える」という当社の基本理念は証明できたと思っています。京都市支援ファンドから資金サポートいただいて開発した4KTV用ドライバは、現在わが社の主力製品になっています。まだまだ厳しい状況ですが、われわれの今後にご期待ください。



(株)坂ノ途中
代表取締役 小野 邦彦 氏

農業に挑戦する人たちのプラットフォームづくり

「100年先も続く農業を」をコンセプトに、環境負荷の小さい農業に挑戦する新規就農者と連携し事業を展開してきました。栽培品目や時期の全体最適と複数の販路確保を通じ、農地条件などの影響により少量不安定になりがちで、しかし質の高い農産物を流通させることに成功しています。今回の資金調達を通じ、ネット通販の集客力向上、生産者やバイヤーを支える新規事業開発等を進めます。農業に挑戦する人たちを支えるプラットフォームになれるよう、取り組んでまいります。



AG(株)
代表取締役社長 岩谷 瑛司 氏

投資を機に映像ツールの新技術を自社開発

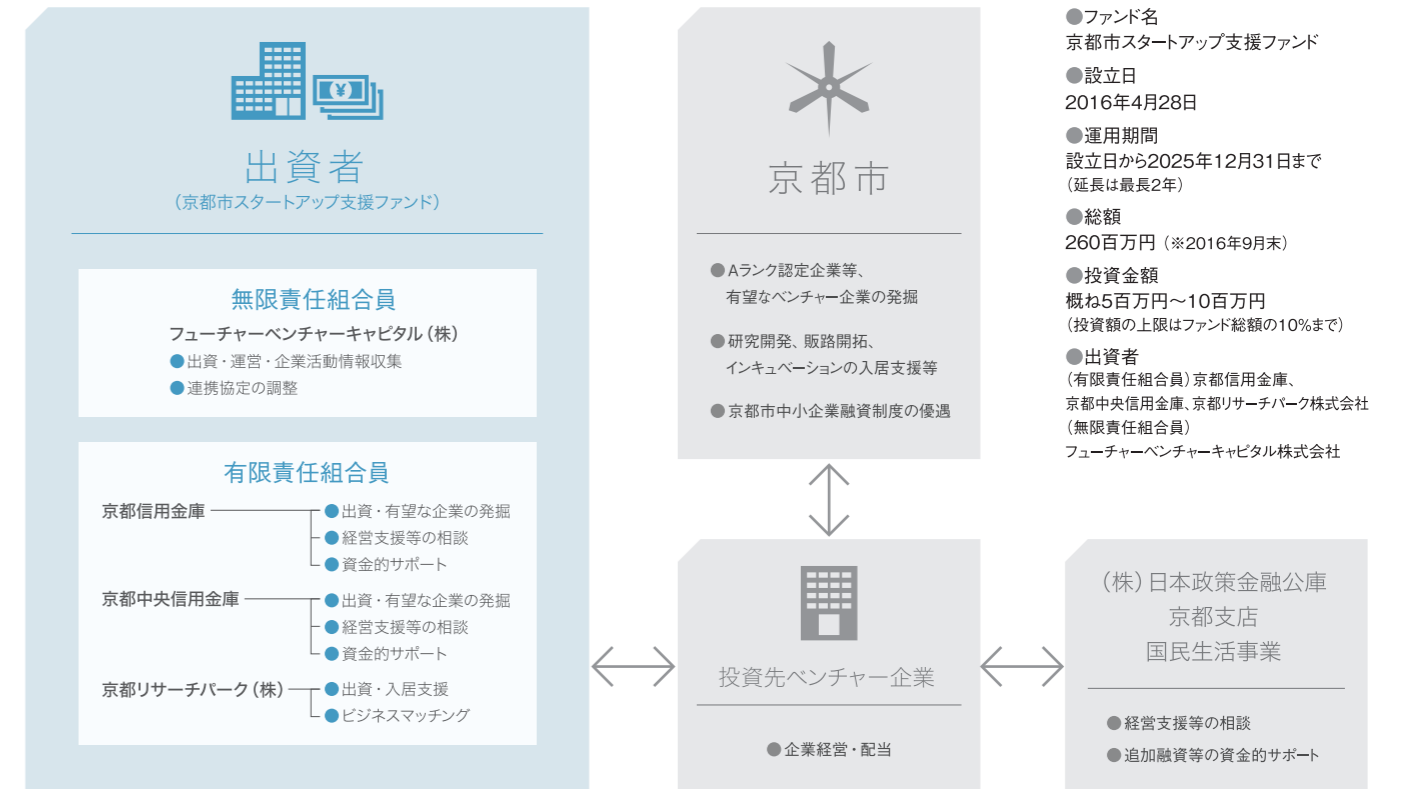
京都の伝統工芸品やカメラ・レンズ・時計など日本製品のインターネット販売と、企画・撮影から動画やシステム開発・運営までを行う映像関連事業を2本柱としています。映像関連事業として動画の中に写真や文字情報など複数の情報を埋め込む商品・サービスプロモーションツール「ViC」を自社開発しました。設立4年目の2017年1月、当支援ファンドから投資を受けたことによって、より魅力的な動画体験を実現する技術を開発し、この3月から新サービスをリリースできました。2018年中の市場拡大を目指します。



(株)恵葉&菜健康野菜
代表取締役 池 祐史久 氏

創造的な未来産業として農業の工業化に取り組む

「恵葉&菜(けいはんな)健康野菜」は高品質で高機能な健康野菜の栽培研究開発に取り組んでいます。植物生理学に基づいた最適な環境に制御することで、ビタミン等の抗酸化成分を3~10倍以上に増やし、さらに糖度が高く美味しい、次世代の「高機能健康野菜」を生産可能にしました。今や地球の総人口は72億人に上り、現在の食糧環境機能では必要十分な食糧が供給できないとさえいわれています。京都発の植物プラントメーカーとして地球の食の未来を見つめ、農業の工業化を進めてまいります。



- ファンド名
京都市スタートアップ支援ファンド
- 設立日
2016年4月28日
- 運用期間
設立日から2025年12月31日まで
(延長は最長2年)
- 総額
260百万円(※2016年9月末)
- 投資金額
概ね5百万円~10百万円
(投資額の上限はファンド総額の10%まで)
- 出資者
(有限責任組員)京都市信用金庫、
京都中央信用金庫、京都リサーチパーク株式会社
(無限責任組員)
未来ベンチャーキャピタル株式会社

切れ目のない支援体制で「京都で起業」を促進

京都での起業を促進し
地方創生につなげる

京都市スタートアップ支援ファンドは、起業家にとって最大の課題といわれる創業初期の資金調達を、京都市と未来ベンチャーキャピタル(株)、京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都中央信用金庫、(株)日本政策金融公庫京都支店国民生活事業、KRP(株)の6者で支援しようというものです。支援メンバーがそれぞれの得意分野を生かして、京都での起業を促進し地方創生につなげることを目的としています。当支援ファンドの創設によって、京都市の支援体制が整い、起業家に対して切れ目のないサポートが行えるようになりました。



京都市産業観光局 新産業振興室
新産業企画課長
須貝 雅幸 氏



「京都市スタートアップ支援ファンド」のメンバー。京都市と地元金融機関2行、VC、2社間で協定が結ばれた

「ベンチャーの都・京都」といわれながら、京都の開業率は、全国平均を下回っています。今後は、京都での起業メリットを全国へ発信して、他府県の魅力ある起業家を呼び込み、京都での起業率をどんどん上げていきたい。支援ファンドのメンバーとともに、セミナーやカンファレンスを定期的に開催して情報交換や企業の掘り起こしを行っていきます。

今後は分野や業種を問わず30社を目標に、幅広い支援を実施します。地域の大学や産業支援機関とも密接に連携し、京都の強みを生かして「起業するなら京都」といわれるよう、行き届いた体制で起業を支援していきます。

2 kizki1号投資事業有限責任組合

テクノロジー系ベンチャーの事業化支援

投資先企業の声

自閉症の治療薬開発を通して社会に貢献

67人に1人といわれながら根本的な治療薬がない、自閉症スペクトラム障害（略称：ASD 従来の自閉症に小児自閉症やアスペルガー症候群などまで含めた発達障害の総称）。当社はその治療薬の開発と関連事業の事業化によって、製薬企業へのライセンスアウトを目指しています。2014年にNEDOのスタートアップイノベータに採択され、さらに昨年

7月にはkizkiファンドからの投資を頂き、事業を大きく前進させることができました。今後はさらに資金調達を図って、早期に臨床試験を行い、2021年頃には株式公開できるように事業を進めていきます。今後は大学や企業が集まり、研究開発の環境が整っている京都で、当社の研究・開発・事務所機能を強化していきたいと考えています。



(株)スカイシーファーム
代表取締役
小上 裕二 氏



RFLーカス(株)
代表取締役
上谷 一 氏

高精度のタグ位置特定技術で海外市場へも

RAIN RFID (UHF 帯パッシブ型RFID) のICタグ位置を高精度・高速に特定する独自ソフトウェアやシステムを提供しています。センチメートル単位の精度でタグへの距離変化がわかる技術を開発。物流現場での長時間労働の緩和や災害現場の状況把握にも活用が期待できる技術です。『第4回kizki PITCH&ドローンGO NEXT』でプレゼンの機会をいただ

いたことで国内物流会社へのPoC (コンセプト実証のための簡易デモンストレーション) が決まるなど、出資以外の支援もいただき感謝しています。国内の物流・製造業市場だけでなく、当社取締役のSandeep Kumarを中心に米国市場も開拓しています。京都の方とのビジネスはうまくいくことが多いので、今後もつながりを大切にして製品化へ邁進していきたいです。

世界初の電界型NFC通信技術を開発

ドアノブを握るだけで開錠され入退室できる、キーボードに触れるだけでPCにログインできる、手や指がチケット代わりになる…など、人体を介して近距離で無線通信を行う、かつてなかった電界型NFC (Electric Near Field Communication:ENFC) 技術を開発しています。kizkiファンドの投資をいただき、NEDOによるシード期の研究開発型ベンチャー

(STS)に採択されて助成金を得られたことが起業の後押しとなりました。米国でプレゼンを行ったり、大企業主催のベンチャーコンテストで入賞したり、またイノベーションリーダーズサミットに参加して484社中のグランプリを受賞するなど、起業1年目で大きな手ごたえを感じています。今後はグローバル市場を目指して積極的に海外展開していきたいです。



株式会社eNFC
代表取締役
和城 賢典 氏

1970年代以降、日本では世界トップの技術をもつ企業が生まれていません。2016年のIMD (国際経営開発研究所)世界競争力調査でも日本は26位です。日本企業の成功モデルといわれるような会社の多くは活力を失ってしまっていて、世界で勝ち抜いていくことが非常に困難な状況になっているのです。しかしその一方で、日本の科学インフラは世界第2位といわれている。この潜在する「科学技術力」と若い世代のアイデアや新技術を結びつけて新しいビジネスをつくることであれば、日本はもっと強くなれるのでは、と考えたのがkizkiファンドです。NEDOのVC認定を受けた当社は、とがったアイデアや技術をもつ若手起業家のスタートアップを資金面からバックアップし、投資家にとって魅力ある企業が育つよう支援しています。また当社は、パートナーがテキサス州オースティンにあり、投資先の海外展開をサポートしています。



(同)SARR
代表執行社員
松田 一敬 氏

投資先企業の条件は、その分野で世界一あるいはそれに近い技術をもっていること、さらにその技術が完成してビジネスになった場合に社会に対するインパクトが大きいことです。京都の学集積やものづくりの土壌を活用するだけでなく、海外での活動の場も提供して企業の成長をサポートしていきます。またビジネスに大切な「コミュニティ」の構築のために、PITCH&ドローンを開催し、面白いコトをやっている人たちが集まる「kizki」のコミュニティそのものをハブにして、ネットワークを世界へと広げていきたいと思っています。

テキサス・インスツルメント (TI) でマイクロコントローラ・ビジネスをゼロから立ち上げ数千億円のビジネスに広げた後、TIイスラエルCEO、イスラエル最大のVCであるJVPパートナーを経て複数のスタートアップを起業、日本企業等に売却。その後、SXSW開催で有名なオースティンにてアクセラレータ運営、2015年kizkiファンドにGPとして参加。kizkiのインド、イスラエル、米国のビジネス展開に大きな役割を果たしている。



kizkiファンド
ゼネラルパートナー
Sandeep Kumar 氏

- ファンド名
kizki1号投資事業有限責任組合 (kizkiファンド)
- 設立日
2015年11月16日
- 運用期間
組合設立日から10年間 (最大3年間延長の可能性あり)
- 投資金額
概ね12.5百万円~25百万円
- 出資者
(無限責任組合員) (株)SARR TECH RANCH
(有限責任組合員) 京都リサーチパーク(株)他

社会に大きなインパクトをあたえ
世界で勝負できる企業を京都からつくりだす

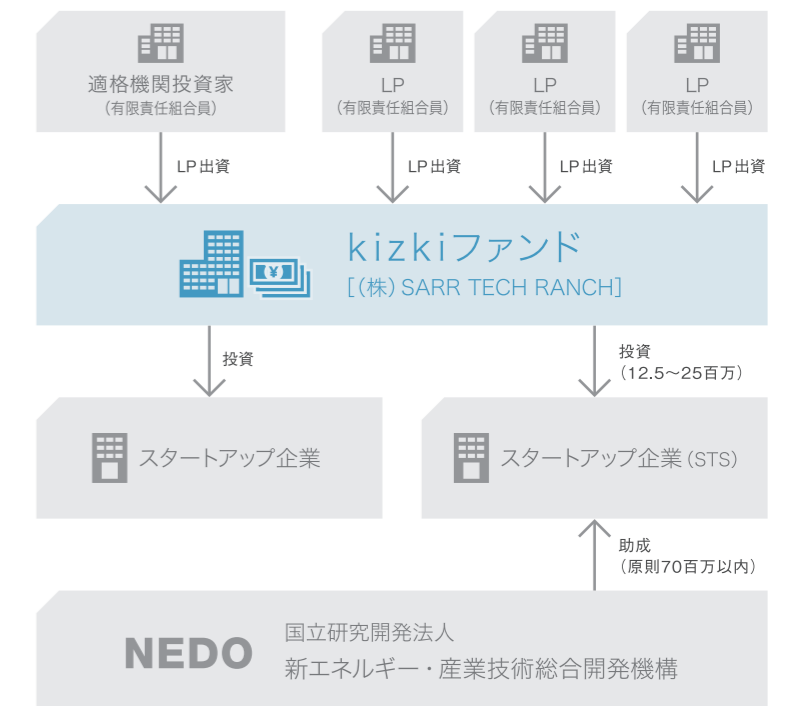
日本を元気にするために
いま必要なベンチャー投資を

1970年代以降、日本では世界トップの技術をもつ企業が生まれていません。2016年のIMD (国際経営開発研究所)世界競争力調査でも日本は26位です。日本企業の成功モデルといわれるような会社の多くは活力を失ってしまっていて、世界で勝ち抜いていくことが非常に困難な状況になっているのです。しかしその一方で、日本の科学インフラは世界第2位といわれている。この潜在する「科学技術力」と若い世代のアイデアや新技術

投資対象は世界トップの技術
社会へのインパクトを重視

投資先企業の条件は、その分野で世界一あるいはそれに近い技術をもっていること、さらにその技術が完成してビジネスになった場合に社会に対するインパクトが大きいことです。

京都の学集積やものづくりの土壌を活用するだけでなく、海外での活動の場も提供して企業の成長をサポートしていきます。またビジネスに大切な「コミュニティ」の構築のために、PITCH&ドローンを開催し、面白いコトをやっている人たちが集まる「kizki」のコミュニティそのものをハブにして、ネットワークを世界へと広げていきたいと思っています。



KRPスタッフ イベントレポート

KRP STAFF EVENT REPORTS

サービスオフィスKRP BIZ NEXT 会員交流会を初開催

異なる業種の会員同士が集い交流

開催日:3月17日(金) 担当部署:営業開発部

サービスオフィスKRP BIZ NEXTのビジネスラウンジにて、初めての「KRP BIZ NEXT 会員交流会」を開催し、30名以上の会員に参加いただいた。お酒や食事を片手に気軽な雰囲気での自己紹介や企業紹介、KRP地区歴など、多くの話題が登場し和やかな交流の場となった。

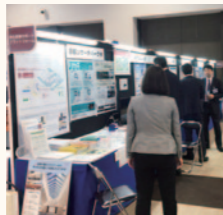


第16回日本再生医療学会総会付設展示会

「再生医療サポートプラットフォーム」共同出展

開催日:3月7日(火)~9日(木)
担当部署:産学公連携部

3/7(火)~3/9(木) 仙台国際センターで開催された第16回日本再生医療学会総会・最新技術紹介コーナーに「再生医療サポートプラットフォーム」として出展した。KRPが進めるモノづくり視点の再生医療の産業化について、共同出展の13社とともに実際の試作品や製品等を展示しながら紹介した。



集まるサービス KRPサークル交流会

Pelican cafeにて約30名が参加

開催日:3月10日(金)
担当部署:営業開発部

約400組織4,400人が働くKRP地区では、企業間交流を目的とした趣味や勉強会のサークルが15サークル活動中。今回、Pelican cafe (KRP1号館B1F)にて、サークル間交流を開催し、テニスや将棋、卓球サークルなどから、約30名が参加した。



KRPワンコインMixer Session 3

「Arduinoで体験する はじめてのフィジカルコンピューティング」

開催日:1月18日(水)
担当部署:産学公連携部

京大デザインスクールとKRP入居企業との交流企画。第3回目は、京都大学情報学研究科の大島裕明先生を講師に迎え、フィジカルコンピューティングのワークショップを開催した。募集開始とともに、満員となった人気のWS。参加者は実際に電子工作のプログラミングを体験し、短い時間ではあったが真剣な面持ちで取り組んだ。



京都スタートアップカンファレンス

「スタートアップにおけるチームの作り方
~強いチームが持つ共通点とは~」

開催日:2月8日(水) 担当部署:成長企業支援部

起業家に継続した学びの場を作ることをめざし、NPO京都西陣町家スタジオ、トーマツベンチャーサポートと共催する本イベント。3回目はチームビルディングをテーマに、(株)はてな執行役員大西康裕氏、(株)ビズリーチ 執行役員佐藤和男氏が登壇した。満員となった会場には、82名の参加者が集まった。

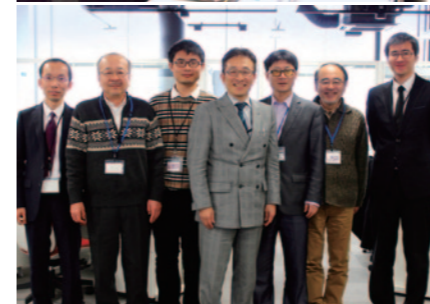
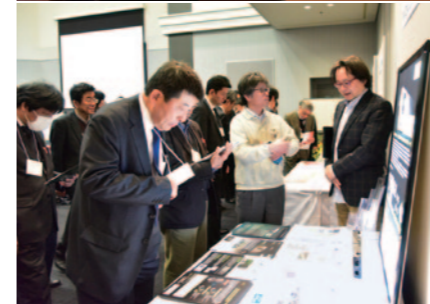


職人たちのマーチ 京都展

京都職人工房メンバーによる展覧会を開催

開催日:2月23日(木)~26日(日)
担当部署:産学公連携部

5年目を迎えた京都職人工房@KRPの年度末展覧会、「職人たちのマーチ」を今年もHOTEL ANTEROOM KYOTOで開催した。商品の展示・販売だけでなく、ギャラリースペースに実演ブース6組を設置して様々な業種の職人が実演し、多くの来場者を前に制作過程を披露した。



中国の大連市に本拠を置き、2016年の対日輸出額第1位のソフトウェア開発企業、大連華信計算機技術股份有限公司グループが、研究開発拠点として株式会社ハイシンク創研をKRP 9号館に開設。去る2月10日、開業式と共に「産業・社会向けソリューションを支えるIoTと機械学習シンポジウム」が開かれた。

製造現場の生産効率を高めるソリューションをはじめ、サイバーセキュリティ、高齢者の安全や予防医療など産業と社会の幅広い視点から、AIによる機械学習やIoTの現状・課題・展望についての最新成果が発表された。大連市から約20人の参加者を含め企業関係者や研究者ら約160人が参加し、懇親会でも交流、今後のビジネスにつながる可能性が期待できる集いとなった。

KRP 9号館 **株式会社 ハイシンク創研**
[略称 LHC:Laboratory of Hi-Think Corporation]

大連に本社を置く中国大手ソフトウェア開発企業、大連華信計算機技術股份有限公司グループの研究開発会社として2016年10月設立。日本の大手製造業に携わった熟練技術者とハイシンクグループの若手技術者が協働し、日本の大学や研究機関・企業とも連携して産業向け・社会向けソリューションを支えるIoTや機械学習の研究開発を行う。
<http://www.lhcc.co.jp/>

中国大手IoT開発企業、大連華信計算機の
研究開発拠点「ハイシンク創研」がKRP地区で始動
IoTと機械学習をテーマにシンポジウムを開催



message from PRESIDENT

日本と中国の技術で 付加価値の高いソリューションを

日本の製造業で経験を積んだ熟練技術者と中国のハイシンクグループの若手技術者とが共同で研究開発にのぞむところが当社の特色です。日本市場だけでなく、国家戦略として「中国製造2025」を掲げ、「製造大国」から「製造強国」への転換を目指す中国市場において付加価値の高いビジネスを創成していきたいです。京都の地の利を活かして、大学や研究機関、企業とも連携して産業・社会向けソリューションの研究開発を進めていきます。

KRP地区入居をきっかけに、同地区内に京都事務所があるJETROの補助金制度「グロ-

バルイノベーション拠点設立等支援事業」をはじめ、京都府・京都市の費用サポート制度を紹介いただいたことも、設立に際して大きな励みとなりました。中でもJETROの補助金制度に採択されたことで事業の立ち上げの弾みとなる補助をいただき、日本に20台しかないといわれるスーパーコンピューターの導入などにより、実証研究に着手することができました。

目下は工場内アプリケーションで機械学習やIoTが必要な分野に絞り込み、従来は画像で判断していた不良品を、事前に検知するシステムや、生産ロスを発生させないための故障診断・予知保全システムの開発などに取り組んでいます。ハードウェアメーカーとも協働してスピード感をもってソリューションを提供していきます。

3年後には10億円の売上げを目指してい

ます。現在社員は10人ですが、3年後には25人くらいの体制にまいります。日本人研究員だけでなく、京都の留学生の約半分といわれる中国人留学生も積極的に採用していきます。社員の年齢層が幅広く、日本に長く住む中国人や中国のビジネス経験が豊かな日本人、専門分野のちがいないなど、バックグラウンドの多様さも当社の強みです。互いの文化的背景を理解し合い、人とのつながりを大切に日中の架け橋となれるような会社を目指していきます。



(株)ハイシンク創研
代表取締役社長
巽 雅幸氏

詳しい内容はWEBでチェック! ▶▶



・KRP News & Events <http://www.krp.co.jp/newsevents/>
・町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>
・産学公連携部 <http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>

Newcomers



KRPエリアに入居された
新しい企業様のご紹介です。

KRP 6号館

スフェラーパワー株式会社

世界初の三次元受光を可能にした球状太陽電池「スフェラー®」の開発製造販売をおこなっています。さまざまなパートナーとともに太陽光発電の応用範囲を広げるソリューションを探索します。

[取扱品目]

- ・スフェラー小電力シリーズ(ウェアラブル等の小型デバイス向け電源)
- ・スフェラーデザインプロダクト(オリジナルのソーラー照明機器)
- ・スフェラーBIPV(高透過型建材一体型太陽電池)
- ・スマートソーラーサイン

代表取締役社長 井本 聡一郎

TEL : 075-874-1474

FAX : 075-874-1476

URL : <http://www.sphelpower.jp>

MAIL : inquiry@sphelpower.com

業種 : 電機 / 電子 / 半導体



KRP 4号館

株式会社Smile Innovations Alliance

1. 歯科医院と歯科技工所に対するコンサルティング
2. 歯科実習用模型の販売
3. 患者説明用模型の販売
4. 歯科技工製品の販売

代表取締役社長 永谷 晃

TEL : 075-315-9172

MAIL : contact@sia.kyoto.jp

業種 : 医療 / 健康 / 化学 / バイオ



日台間のビジネス交流をさらに促進

KRP(株)が台湾中部科学工業園区と姉妹提携締結

中小・ベンチャー企業を支援するKRP(株)は、2017年2月21日に台湾3大サイエンスパークのひとつである中部科学工業園区(Central Taiwan Science Park、以下CTSP)との間で、両パーク間の相互連携とビジネス交流を目的とした「事業協定に関する覚書」を締結いたしました。KRP(株)にとって台湾のサイエンスパークとの姉妹提携は2件目。台湾ハイテク産業の集積地であるCTSPとの相互連携とビジネス交流を通じ、日本・台湾双方の企業が相互進出する際のゲートウェイ機能を強化し、外国企業の日本展開や地域の中小・ベンチャー企業の海外展開を支援していきます。



この記事に関するお問合せ ▶ KRP(株) 経営企画部 担当: 井上 TEL: 075-315-8288 FAX: 075-315-9079



Profile

中嶋 郭和 氏

東京都出身。理化学研究所半導体研究室、シャープ株式会社を経て、1972年株式会社光電子工業研究所創業。現在の社名「コーデンシ株式会社」には2002年に変更。「会社というのは面白い方がいい」が信念で、日本、中国、韓国、台湾、香港などを週単位で飛び回る日々を送っている。



社内のあちこちにある京都の伝統文化を感じさせるディスプレイが、京都のおもてなしの心で客人をやさしく迎える。

ひとつの会社を 異なる文化のもとで展開

弊社が創業したのは1972年。以来45年、自身の特許を活用して生産した太陽電池から発展し、光センサー、光半導体の分野で事業を行ってきました。太陽電池製造の初期には友禅染の技術である型染に着想を得て、独自の

製造工程を確立。異分野からも製品開発のヒントを得ようとする柔軟な姿勢も、弊社の原動力のひとつです。
1980年代、韓国に情報通信機器の会社をつくりました。続いて中国でも事業展開を行って、いま中国、韓国という東アジアの異なる文化のもとで、同じグループとして事業活動を展開する



KRPエリアを拠点に活躍する
すべての人、その意外な素顔に迫ります。

KRP People

コーデンシ株式会社
会長 中嶋 郭和 氏

国際分業体制。世界市場に対応する弊社ならではの強みです。

KRP地区にオフィス開設 そしてスマート社会の実現へ

ところが、中国、韓国の事業が一段落して戻ってきたら、世の中の変化、進化に対して日本がいちばん遅れていました。今後求められるのは、AIを使ったコミュニケーションロボット、バイオメトリクス、スマート社会などへの展開でしょう。そのためどうすべきか。求める知識や技術が集まる場所に、我々も身を置くべきではないか。そう考えて昨年11月にKRP地区にオフィスを開設したのです。

このオフィスには、これまで会社に貢献してきた経験ある人たちが籍を置いています。インキュベーターやベンチャーが集まる場所では、我々が新展開のための情報やネットワークを得るだけでなく、先輩として、できることは多いのではないかと考えたからです。京都という「人が育つ」「人を育てる」場所で、若い卵たちを育てながら私たちがさらに育つていければと思います。

宇治を拠点に、京都を活用 50年後のコーデンシに向けて

本社の所在地は宇治市で、住まいも宇治です。ドライブやウォーキングが趣味なのですが、運転免許証は家族に取り上げられてしまつて(笑)、近頃はもっぱら家の近くでのウォーキングです。太陽ヶ丘から天ヶ瀬ダム、朝日山...と歩いて、気がつけば10km、15kmになっていることもしばしば。宇治は自然も歴史もあつても大好きなのですが、事業者の目で見れば、やはり京都市ほどの知名度がない。このたび京都市に新しいオフィスができましたし、これからは世界に向けて、京都を活用した展開を進めていきたいですね。50年後のコーデンシに向けて、新しい世界、新しい事業が始まるのがとても楽しみです。

KRP ASTEM棟 5階

会長

中嶋 郭和

TEL : 0774-23-7111

FAX : 0774-20-3961

URL : <http://www.kodenshi.co.jp/>

MAIL : info-rd@kodenshi.co.jp

業種 : 電機 / 電子 / 半導体

新規事業創出を目指して社内カンパニーを立ち上げ、KRP地区にオフィスを構え入居しました。より情報の集まる地区で自由に新しい事をやってみようという活動しています。入居メンバーは、いずれも既存事業を立ち上げてきた弊社の重要メンバーですが、それまでの仕事を手放して、新しい取り組みにチャレンジしています。スマート社会の実現に向けた新しい事業の創出に向け、新しいビジネスを開拓していきます。

コーデンシ株式会社 KRP OFFICE



[本社所在地]
〒611-0041
京都府宇治市槇島町十一の161

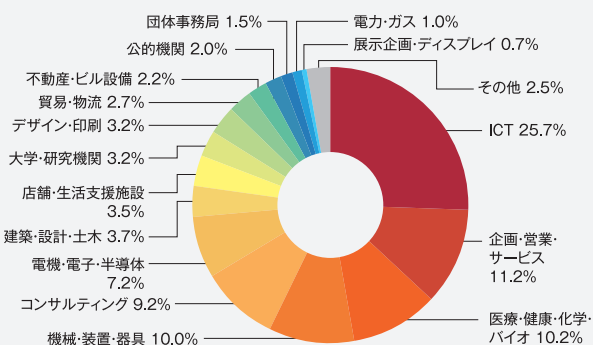
企業情報



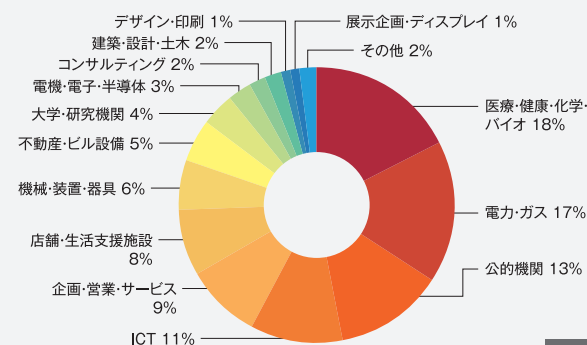
入居企業・機関数 **約400組織**

就業人口 **約4,400人**

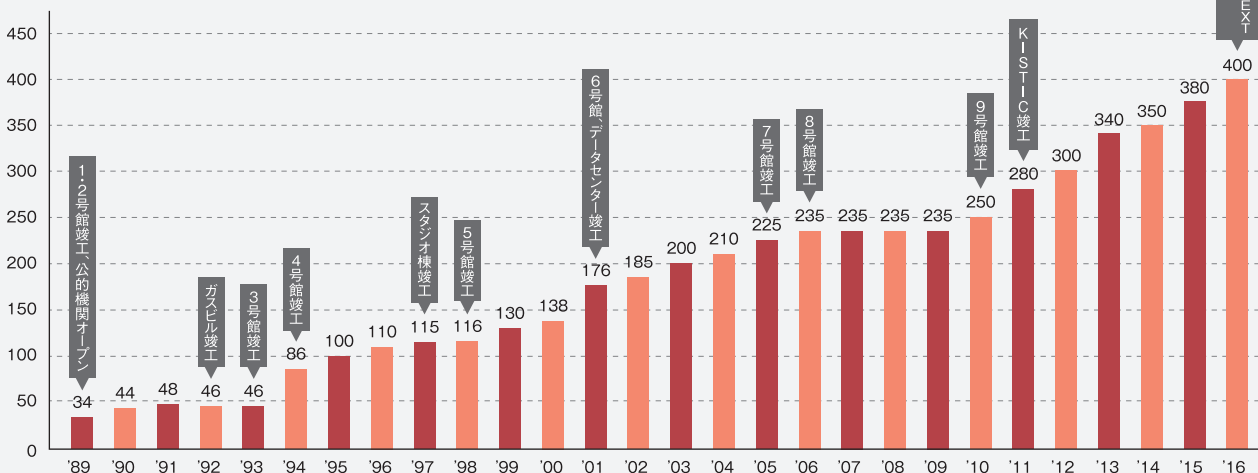
組織数比率 [2016年12月時点]



従業者数比率 [2016年12月時点]



入居企業・機関数推移



イベント
募集中



KRP-WEEK 2017 7/31 MON ≫ 8/6 SUN

KRP-WEEKは「イノベーションの創出と交流の場づくり」を目的に開催する京都市リサーチパーク地区のイベント週間です。2016年度は、シンポジウム、体験イベント、七夕まつり、交流会など全59イベントを開催しました。2017年度イベント企画をご検討の方は事務局までお問い合わせください。

KRP-WEEK2017 特設サイトオープン! ▶ <http://www.krp.co.jp/krpweek/>

お問合せ

KRP(株) KRP-WEEK 事務局 TEL:075-315-8485 MAIL:krp-week@krp.co.jp
※実施日は諸事情により変更になる場合がございます。

WEBでもKRP PRESSのバックナンバーがご覧いただけます
▶ http://www.krp.co.jp/pub/bn_prs/index.html



写真：KRP-WEEK2016より

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

- 配送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」 ※定期配送も可能です
- 停止 ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」
- 変更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.149
April
2017

KRP PRESS www.krp.co.jp/pub/index.html

○編集・発行／京都市リサーチパーク株式会社
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地(ASTEM棟4階) TEL:(075)315-9333 FAX:(075)322-5348
○編集長／鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷／株式会社情通レゾナンス ○配送管理／有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信中 毎月第2・4火曜配信
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>

